

各 位

会社名 株式会社 ヨンキュウ
 代表者名 代表取締役社長 笠岡 泰文
 (JASDAQ・コード 9955)
 問合せ先
 役職・氏名 経理部長 江良 林一
 電 話 0895-24-4902

平成20年3月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年11月9日付の当社「平成20年3月期 中間決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	35,658	139	281	138	12円17銭
今回修正 (B)	36,277	△ 23	148	7	0円70銭
増減額 (B-A)	619	△ 162	△ 133	△ 131	—
増減率 (%)	1.7 %	△ 116.5 %	△ 47.3 %	△ 94.9 %	—

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	35,388	172	311	168	14円82銭
今回修正 (B)	36,030	△ 20	156	15	1円37銭
増減額 (B-A)	642	△ 192	△ 155	△ 153	—
増減率 (%)	1.8 %	△ 111.6 %	△ 49.8 %	△ 91.1 %	—

(3) 修正理由

売上高については、「鮮魚の販売事業」においてタイ及び雑魚の販売数量が増えたことで、ほぼ計画通りの推移となったものの、利益面では、平成19年7月に発生致しました宇和海の赤潮による給餌制限(餌止め)の影響、また、餌代の高騰から給餌削減の影響も響き、「餌料・飼料の販売事業」における生餌及び配合飼料の販売数量が対計画比で未達(生餌:10.2%減、配合飼料:7.9%減)となったことで売上総利益が減少、更に費用面では、赤潮被害、魚価低迷の影響等により、販売費及び一般管理費の貸倒引当金(7億14百万円)の計上(対計画比で74百万円増)により営業利益が減少、総じて経常利益、当期純利益も前回発表予想を大幅に下廻る見込みとなりました。

以上の理由により、前回発表予想数値を上記の通りに修正致します。

2. ご参考: 前期実績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結実績(平成19年3月期)	40,200	1,238	1,431	524	46円11銭
個別実績(平成19年3月期)	39,938	1,264	1,463	555	48円79銭

以 上